



新年のごあいさつ

仙北市長

石 黒 直 次

市民のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

それぞれ心新たに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、一昨年(平成28年)の9月20日に「仙北市」が誕生してから早いもので1年3ヶ月が経過いたしました。

平成18年を振り返ってみますと、大豪雪による「仙北市雪害対策本部」の設置に始まりましたが、市政運営の基本方針となります「仙北市総合計画」の策定や、角館小学校建設事業、汚泥再生処理センターの基本設計、国民体育大会(秋田わか杉国体)の会場施設整備事業等、計画した諸事業も順調に推移し、新年においても引き続き進めて参ります。

新市発足以来、市政が順調に推移しておりますことは市民のみなさま方のご理解、ご協力の賜と、深く感謝申し上げます。

今年は、秋田わか杉国体の開催年となります。仙北市におきましては、冬季大会スキーアルペン競技会が2月に開催されるなど、すぐ目前に迫っております。

また、9月から10月にはカヌー競技会、軟式野球競技会、馬術競技会が開催されるほか、デモンストラション競技としてデュアスロン競技が開催されます。

秋田わか杉国体を本市の魅力を広く全国に伝える絶好の機会ととらえ、「市民の手で成功させよう」

をスローガンに市民一丸となって大会成功に向け取り組んで参ります。

平成19年においても厳しい財政状況ではありますが、昨年9月に策定した「仙北市総合計画」の将来像「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市」づくりを着実に実行し、定住人口3万人、交流人口1千万人の達成を目指し、着実な一步を踏み出して参ります。

今、国でいわれている「美しい日本」を目指すということは、心豊かになれる、心安らぐ自然・環境・市民が求められているものと考えます。仙北市はその要素を十分に持っていると思いますが、さらにその不足分を整備し、全国に発信し、働きかけることにより、目標により近づけて参りたいと存じます。

また、元気あふれる仙北市実現のため「定住対策プロジェクト」「テンミリオン計画プロジェクト」「産業連携プロジェクト」の3つの重点プロジェクトを強力に推進するための新規事業を優先的にを行い、市民にとって真に必要な施策の実行と情報開示を進め、公正な行政運営にあたるとともに、今、地方行政に求められている効率的な行政運営、スリムな行政組織づくりを進め、市民の声が届き、よく見える「市民のための行政」を目指して参ります。

市民のみなさまのなご一層のご支援、ご協力をお願いするとともに、みなさまのご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。